

作成日：2026年1月5日

当院で2023年6月から2025年6月までに、焦点深度拡張型眼内レンズ（Mini WellまたはVivity）を用いた白内障手術を行われた患者様へ

臨床研究課題名：

2種類の波面技術を用いた焦点深度拡張型眼内レンズにおける術後視機能の比較

この研究を計画した背景

現在、白内障手術において焦点深度拡張型（EDOF）眼内レンズは、実用的な遠方から中間、近方の視力を提供するために広く使用されています。異なる波面技術を用いたMini WellとVivityは、いずれも良好な視機能を提供することが知られていますが、これら2種類のレンズにおける術後視機能を同一条件で直接比較した報告は限られています。

この研究の目的

Mini WellとVivityを挿入した患者様の術後3ヶ月における視力やコントラスト感度などのデータを比較検討し、各レンズの視学的な特性を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来白内障手術を受ける患者様がレンズを選択する際の一助となる可能性があります。

なお、この研究は、当院では以下の研究者が対応します。

研究責任視能訓練士：眼科 高橋 慎也

この研究の方法

この試験は、小沢眼科内科病院で行われる観察研究です。2023年6月から2025年6月までに当院にてMini WellまたはVivityを挿入した患者様を対象としております。過去の診療で得られたデータを用いた後ろ向き観察研究で、データは個人が特定できないようコード化を済ませた状態で解析します。研究期間は倫理委員会承認後から2027年12月31日までです。

使用する診療情報

- 患者背景：年齢、性別
- 術後データ：術後3ヶ月における矯正の全距離視力（5m、70cm、50cm、40cm、30cm）、デフォーカスカーブ、コントラスト感度（AULCSF）

あなたの個人情報に係わる内容は保護されます

試験を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、情報はコード化した番号で管理されるため、個人が特定されることはありません。氏名、住所、電話番号などの個人情報は厳重に保護されます。

得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究において、開示すべき利益相反（特定の企業等からの資金提供等による影響）はありません。

この研究は必要な手続きを経て実施しています

この研究は、小沢眼科内科病院の倫理委員会において、倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されています。

本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究についてのご質問や、ご自身のデータを使用されることを希望されない方は、遠慮なく下記までご連絡ください。研究に協力しないことによって不利益な取り扱いを受けることはありません。

ご自身あるいはご家族の情報を登録したくない場合は、2026年8月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

小沢眼科内科病院

〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町 246-6

所属・担当者名：眼科 視能訓練部・高橋 慎也

代表電話：029-246-2111（月～土曜日 8時～18時）